

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート（案）

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」		
	(1)多様な文化芸術イベントの開催		
事業名	メディア芸術振興事業		
実施主体	実行委員会	(名称) メディア芸術振興事業実行委員会	
市との関わり	主催	負担金	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961(内)90-2527

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、子ども・若者、領域の広がり）
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）
アプローチの方法として、昨年度受講した子ども達に対して次年度以降はより発展的な授業展開を図るのか、また、異なる学年の子ども達に対して授業内容に偏りが出ないようにどのような工夫を図るのかなど検討を要する点が残っており、教育的な視点でアドバイスできる人材の活用が望まれる。 また、上記の課題を検討する上で、「ななめな学校」が市の文化振興を推進するなかでどのように位置づけるか、関連づけられている基本施策以外に波及した基本施策も踏まえ、長いスパンでの事業のねらいを持つことが必要と考える。
4 市民との関わり（満足度、周知度）
(満足度) 異なる学年の子供が参加する上で対象年齢にあった授業展開や、参加した子どもが「楽しかった」という感想を持つ以外に、学びの要素での具体的な実感も得ることができるよう授業展開を検討する必要があると考える。 (周知度) 応募状況が良かった原因に、チラシデザインが大きく貢献したと思われる。広報に力をいれることは市のイメージ向上につながることで、今後もこのクオリティを維持してほしい。
5 効果（地域活性化、費用対効果）
(地域活性化) 事業が幅広く認知され定着するまでは美浜区で実施することは必要と思われるが、このようなワークショップで地域を活性化するのは難しく、今後人材が育って初めて地域の文化や経済が活性化されるものと考えている。具体的な改善が必要という状況ではない。 (費用対効果) 講師謝礼の額について、クリエイティブな仕事に関わる方々が創作活動を継続できるようなものでないと文化芸術は維持できないものと考えているが、それと同時に、市のメディア芸術推進事業の戦略的方向性もはっきりと定めた上で設定するべきものと考えている。多角的な視点を持って額を設定するべきと考える。

【提言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 継続	<input type="checkbox"/> B: 改善	<input type="checkbox"/> C: 見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載			
・「ななめな学校」実施結果からみて、教育的な視点から事業内容についてアドバイスできる人材の活用を推奨する。 ・「ななめな学校」が市の文化振興を図るなかでどのように位置づけるか、また、その戦略的方向性について、長期的かつ明確なねらいを持つことが必要と考える。			